

(家庭数配布)



対話を大切にしていきたいですね。

この3年間のコロナ対応で憚（はばか）られたことに「人と会う」があったのではないのでしょうか。まずは感染を防止することが優先せざるを得なかったため、直接会って話をしたいところが、電話やオンラインで会話することが多くなってしまいました。しかし、人と人って、やはり直に顔を見ながら話をしてみないと、本当に本当のところ、真意はなかなか伝わらないことも多いです。

時に保護者の皆様から私に「ちょっとお話を伺いたいのですが…。」と言われることがあります。残念ながら、これが苦情？の場合も…。そのような時は、できるだけ直接お会いし、じっくりとお話をさせていただくようにしているのですが、私のこれまでの経験上、最後には「これからもよろしくお願いします。」となるが多かったです。なぜでしょう？保護者の皆様と学校が考えていること、双方の目指すことが同じだからと思っています。それは「子どもを良くしたい。」の1点です。この点については間違いなく同じですから、アプローチの仕方は様々ありますが、しっかりコミュニケーションさえとれば、最終的には考えを一致させることができるのでしょう。

保護者の皆様にお願いですが、もし、何か「？」と思われることがあれば、遠慮なく学校までお声がけください。ご家庭と学校がしっかりと話し合いながら、子どもたちにとって最も良い形は何かを創り上げていきたいと思っています。タイトルにもありますように、「対話」を大切にしていきたいです。前号で「自分は同じことを2回やらない」と述べましたが、この点に関しては変えてはいけないところでしょうし、私も変えるつもりは全くありません



◇授業はみんなで作り上げるものです。

先日、3年生のあるクラスに授業をのぞきに行きました。教室では「向」を新出漢字として学習していました。担任の先生が「この字を使った文章を考えましょう。」と発問したところ、ある子が「向こうの方向に顔を向ける。」と答えたのです。これ、素晴らしいです。この短い1文の中に「向」が何と3回も使われています。しかも、少しずつ意味が異なっているのです。次の時間、担任の先生がその子を褒めたところ、本人はとても喜んでいました。このような発言を先生が褒めてあげることによって、他の子も次々と工夫をして文章を作るようになるでしょう。こういうところに、集団で学習をしていることの大きな意味があります。1人で学習していると、どうしても発想が限られてきますので、なかなかこんなことは起こりません。時には、「えっ、それはないだろう。」と思うこともありますが、そんな意見も含めて聞くことで、自分の考えがより深まることもあるのです。

「みんなで同じことを学習する。」は、一見、非効率的なようにも思えますが、ただ単に知識の量を増やすだけではなく、より深みを持たせることに繋がります。これが学校（集団）で学習をする大きな意味です。これからも、まずは先生を中心として、子どもたちみんなで授業を創り上げていければと思います。

◇委員会が活動しています！

子どもたちは、教科の学習以外にも、学校では様々な活動を行います。委員会もその1つです。緑地小学校には、保健、体育、図書、広報・掲示、放送、美化、給食、運営の8つの委員会があり、5・6年生は全員どこかの委員会に所属（運営のみ4年生の一部が参加）し、学校全体のために仕事をします。先日（17日）の6時間目には、第1回の委員会があり、翌週月曜日の児童朝会（放送）では各委員長から1年間の活動についてお知らせがありました。5・6年生の子どもたち、それぞれが高学年として責任を持ち、しっかり仕事をしてくれることでしょう。

